

モデル地「現地見学会」を開催しました

中杉通りケヤキ並木の「保護管理」と「モデル実施」の説明会および現地見学会を8月31日と9月9日に開催しました。

2日間で約80名の方に御参加頂き、本取組みについて、多くの賛同を得ることができました。



今後の保護管理の進め方

平成24年冬期のモデル実施後、ケヤキの生育状況の確認、管理内容の検証、必要に応じた見直しを行っていきます。

以降、中杉通りケヤキ並木の保護管理は、青梅街道側から早稲田通り側にかけて、順次進めて行く予定です。



ケヤキの発生材利用について

今回のモデル実施で伐採したケヤキを活用したいとお考えの方は、下記までご相談ください。

連絡先
東京都建設局第三建設事務所 補修課 街路樹係

【発生材の利用例】



本取組みに関するご意見、ご要望は、右記の連絡先まで



中杉通りケヤキ並木 News Letter No.3

2011.11 発行

発行者 中杉通りケヤキ並木連絡会
連絡先 東京都建設局第三建設事務所 補修課街路樹係
TEL 03-3387-5384 FAX 03-3387-9180

※転載・転用を禁じます。 表紙写真：現在の中杉通り



中杉通りケヤキ並木

News Letter No.3

ふるさとのみどり

"ケヤキのトンネル"を50年後も守り育てるために

～ 中杉通りケヤキ並木保護管理の考え方 ～

中杉通りのケヤキは、生育間隔が狭く、樹木同士が競り合い、弱った木が見られます。そのため、十分な間隔を確保するために間伐を行い、ケヤキを健全に育成していきます。

また、ケヤキの多くは樹形のバランスが悪い状態です。適切な剪定により、乱れた樹形を整え、美しい並木にしていきます。

ケヤキ並木保護管理のモデル実施

杉並区のシンボルである『中杉通りのケヤキ並木』を守り育てるために、ケヤキ並木の保護管理に取り組んでいきます。

保護管理の内容は、「中杉通りケヤキ並木連絡会」において、樹木の成長に伴い発生している問題点等を確認し、検討しました。

このたび、保護管理の実施に先立ち、試験的なモデル実施を行います。

対象となるモデル地は、阿佐ヶ谷駅～青梅街道のうち、阿佐ヶ谷南1丁目及び阿佐ヶ谷南3丁目の約100m区間とします。

実施は、平成24年2月上旬～3月下旬頃を予定しています。



【モデル実施の内容】

モデル実施は、<ケヤキの管理>と<ケヤキ植栽地の改善>を行います。

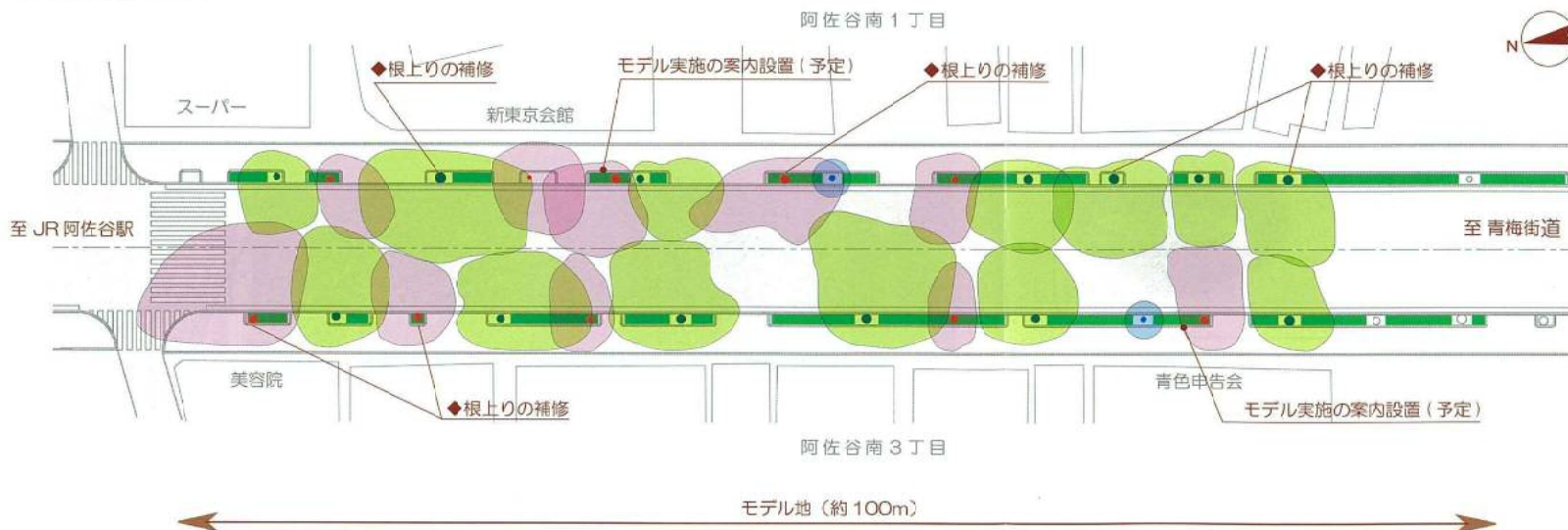
<ケヤキの管理>

- 十分な間隔を確保するため、生育の悪いケヤキを伐採します
- 本来の美しい樹形に戻すため、樹高15m程度の位置で剪定します
- 必要に応じて、新たなケヤキを植栽します

<ケヤキ植栽地の改善>

- ケヤキの周辺で、生育改善のための植栽土壌の耕起（耕す）を行います
- 低木は、生育の悪いものについて植え替えを行います
- 歩道の根上り箇所は、根の状況を確認し凹凸を改善します

モデル実施の内容



凡例

- 保全するケヤキ（剪定実施）
- 伐採するケヤキ
- 新たに植えるケヤキ
- ヒサカキ（低木）の植え替え・密植

